

# 補足； 評価シート

## 評価シートのねらい

自らの業務内容を確認・検証するプロセスを通して「気づき」を得て現場の実践力の向上に役立てる。

# 「評価シート」の構造

## 前半：フェイスシート

自身のプロフィール、就業実態・実感、組織環境等

## 後半：基本的姿勢と各レベルごとの評価項目

### 「地域レベル」（13項目）

センターとして働きかけを行う圏域内、所在自治体の地域住民、関係機関、行政等

### 「組織レベル」（23項目）

センターとして業務を遂行する上でかかわりのある、センター3職種、センター組織全体、法人等

### 「個別レベル」（19項目）

センター業務の中で個別にかかわるすべての個人

# 評価シート: 抜粋

〔評価の目安〕 5 .....かなりできている      4 .....ある程度できている      3 .....どちらともいえない  
 2 .....あまりできていない      1 .....できていない

地域とは.....センターとして働きかけを行う、圏域内、所在自治体の地域住民、関係機関、行政等を想定しています。

## 〔地域レベル〕

No.	項目	自己評価	自己評価の根拠 (具体的に記載)	評価の着眼点(例)
1	地域に対して、センターについての理解が深まるように働きかける	5 4 3 2 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きかけの内容・方法</li> <li>・認知度</li> </ul>
2	地域住民のニーズを把握する	5 4 3 2 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料、計画書、報告書等</li> <li>・地域への訪問</li> <li>・地域住民との懇談(個別訪問、会合参加)</li> <li>・アンケート調査</li> </ul>
3	地域の社会資源を把握する	5 4 3 2 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・統計資料、計画書、報告書等</li> <li>・地域への訪問</li> <li>・関係者・関係機関からの情報収集</li> </ul>
4	地域の住民、組織、機関から情報が得られるようにする	5 4 3 2 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション</li> <li>・認知度</li> </ul>
5	地域の課題について、地域住民とともに理解を深めるための取り組みを行う	5 4 3 2 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有化</li> <li>・学習(地域住民・専門職双方)</li> <li>・啓発</li> </ul>

# 対面方式による「評価シート」の活用方法

- フェイスシートの記入
- 「総合相談支援業務」を行うにあたっての基本的姿勢の言語化
- 評価項目ごとの自己評価と根拠の明確化
- レベルごとの課題の明確化
- 全体を書き終えての気づきの言語化
- 記入済みシートを用いた、対面方式による実践のふりかえり

# 「自己評価ワークブック」の活用方法

①チェックシートで日頃の自分の取組を評価する

②ワークシートを記入して実践を言語化する

③あらためて、自己評価をする

④解説を読んで学習を深める

⑤ワークシートと自己評価の振り返りをする

⑥「気づき」を得て、今後の取組目標を確認する

**実践力アップ!**

**具体的行動**